



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 5-18号
令和5年12月22日
文責 校長 古賀 一英

『夢への挑戦』 生徒の成長に期待して

8月25日から始まった2学期も今日の終業式で終わりました。時間の経過は早いもので、令和6年までカウントダウンとなってきました。年度始まりの学校では3学期をまだ残していますが、1年間の4分の3が終わったこととなります。

さて、この2学期は、1学年はふれあい学級、2学年は職場体験や修学旅行、3学年は体験入学や進路学習、全学年で取り組んだ文化発表会とたくさんの行事に取り組んできました。また、日々の授業や学校生活も生徒たちはよく頑張っていました。

先日、大谷翔平選手がスポーツ界史上最高額でロサンゼルス・ドジャースと契約をしたというビッグニュースが流れました。大谷選手は、1994年生まれの29歳、岩手県出身で小学3年生の頃から野球を始めたという極々一般的な家庭の子どもでした。大谷選手の高校時代の目標は有名ですが、「ドラフト1位指名 8球団」というものでした。大谷選手は、「目標を立てたからといって全てが可能となるわけではない。夢破れて去る者もいる。志半ばで諦める人もいる。共通して言えることは、夢を描かなければそれに近づくことはできない。」と考えていて、その夢を達成するために必死に努力をしてきたようです。しかし、現在も、右肘の2度目の手術を行い、思うようにならない事もたくさん経験してきています。そんな大谷選手のコメントに、「できないと決めつけるのは嫌です」というものがあります。どんな状況であろうと「もっとうまくなりたい」という自分の気持ちと向き合い、「今の自分」と戦っている姿を生徒達に学んで欲しいと思っています。

本校の目標「夢への挑戦」としてはいますが、生徒達の長い人生の中では成功を得ることより失敗をすることの方が多く、その時にまた次の一步を踏み出すことができる力を生徒たちにはつけて欲しいという思いを込めています。明日から冬休みとなりますが、お子様達と過ごす時間の中で、夢や目標については是非語り合っていたきたいと思っています。

2学年修学旅行 広島・京都・奈良を満喫

12月17日(日)～19日(火)の2泊3日で2学年は修学旅行を実施しました。コロナ禍が明け、久々に広島原爆資料館見学を実施し、生徒達も改めて原爆の悲惨さだけでなく戦争の恐ろしさについて考えることができました。京都や奈良では、久留米とは違う日本文化にも触れることができ、新たに伝統文化の良さについても感じることができました。



広島原爆ドーム



慰霊行事



班別自主研修



松井本館(就寝前)



松井本館(夕食)



奈良の大仏

久留米市中学校生徒美術作品展に出展

11月23日(木)～12月1日(金)まで、久留米市美術館1階ギャラリーにおいて、久留米市中学校生徒美術作品展が開催されました。本校からも美術の時間に作成した作品を出展しました。



本校の出展



3年
「季節の和菓子を粘土で作ろう」



2年
「モダンテクニックで感情を表そう」

3学年家庭科『幼児ふれあい体験』で学びを実感

12月5日(火)～8日(金)に、校区にある「くるめ天心幼稚園」(久保田園長)のご協力で、『幼児ふれあい体験』を実施しました。これまで、家庭科の授業において幼児の心身の発達と生活について学習し、この体験学習で学びを深めました。生徒達は、園児の笑顔とパワーに日常の授業とはまた違うとても柔らかい表情をしていました。



◆◆◆体験後の感想◆◆◆

○自分もあの幼稚園で小さい頃を過ごして、思い出に残っている幼稚園より全てが小さく感じて成長したんだなと思いました。また、幼児のみんなと鬼ごっこをしたり、あっち向いてホイをして楽しかったし、絵本を真剣に聞いてくれたり、絵本を読み聞かせしたあとに絵本を渡したら1文字1文字読んでいてすごくかわかった。

○いろいろな子と関わることができてとてもよかった。授業で年長さんくらいの歳にできることを習ったけど、本当にいろいろなことができていて、すごいなと思った。ぶつかっている子同士でちゃんと謝ったり、友達に声をかけて遊んだりしていてとても素直でいい子たちだなと思った。私は幼稚園、保育園の先生になりたいと思っているので、今日の体験で改めてやりたい仕事だと思った。